

第 10 分科会

座間市教育研究所

福島 裕太

田中 克憲

発表テーマ

「自然っておもしろい」「もっと知りたいな」という探求心や、自然への親しみをもてるような児童の育成

1 研究の経緯

座間の自然研究会では、副読本「自然はおもしろい」と「春の校庭の花/秋の校庭の樹木・写真シート」の活用と改訂に向けて、研究を重ねてきた。「自然はおもしろい」が発行される以前は、昭和 63 年に最初の副読本「座間の自然」が発行され、小学校 5・6 年生と中学生向けに配付されていた。「座間の自然」は図鑑的な内容であり、近年の急激な都市化に伴い、子どもたちにとって身のまわりの自然が減少すると、使用される頻度が少なくなっていった。こうした背景の中、子どもたちが「自然っておもしろいな」「もっと知りたいな」という探求心を持ち、実際に自然に親しみを持てるようになってほしいとの願いから、読み物へと内容を変え、副読本「自然はおもしろい」は作成された。平成 19 年に初版が発行され、以後、毎年増補改訂を重ねている。今年度は、第 16 版の発行を行った。この「自然はおもしろい」は、教科として理科の学習が始まる小学校 3 年生の児童に配付され、卒業する 6 年生まで使用されている。取り上げている内容は、「座間の自然」「身近な植物」「身のまわりの動物」「空と大地」と大きく 4 編に分かれていて、1 話ごとに読み切ることができるため、どこからでも読み進めることができる。市内の小学校で効果的に活用できるように研究を進めている。

2 研究内容

(1) 「春の校庭の花/秋の校庭の樹木・写真シート」の改訂

- 植物相手の写真のため、成長によって姿や形も変化する。人の手によって伐採されたり、位置が変わったりすれば、変化に応じて写真の撮り直しをしている。子どもたちに伝わりやすい写真を目指している。
- 学校ごとの「写真シート」を作成し、「自然はおもしろい」とともに児童に配布する。
- 各学校に、ラミネートされたものを配布する。

(2) 理科研修講座の開催

- 対象：3 年生の担任
- 内容「自然はおもしろい」を活用した授業実践
- 毎年 1 学期中に実施

(3) 自然はおもしろいの効果的な活用方法

- 音読教材として活用
- Googleform を使った振り返り
- 「春の校庭の花/秋の校庭の樹木・写真シート」を活用した校庭でのフィールドビンゴ

(4) 市内の教員に向けたアンケートの実施

- 市内の小学校における「自然はおもしろい」の活用の実態把握

3 成果と課題

【成果】

- 「春の校庭の花/秋の校庭の樹木・写真シート」は、児童一人ひとりに配付されることで多く活用されている。
- ラミネートされた「春の校庭の花/秋の校庭の樹木・写真シート」が各学校に配付されることで「自然はおもしろい」を持っていない学年でも活用できた。
- 理科研修講座を開催することで活用促進につながった。
- 音読教材として扱うことで、授業時間を使わずに活用することができた。
- Googleform で 振り返りを行うことで、準備時間をかけずに実施することができた。

【課題】

- 毎年各学校を回って樹木の写真を撮る時間を確保することが難しい。
- Googleform での振り返りは、ローマ字を学習していない 3 年生には難しい。また、chromebook の操作にも慣れておく必要がある。
- 使用を促す呼びかけが足りなかった。

4 今後に向けて、

副読本「自然はおもしろい」を一冊完結型にするために、追加改訂を行いたいと考えている。

(1) 振り返りシートの追加

いつでも簡単に振り返りができ、学びの足跡も児童が確認できるように、振り返りシートを「自然はおもしろい」に追加していきたいと考えている。

(2) 学年別内容一覧表の追加

「自然はおもしろい」の内容が、理科のどの単元とリンクしているのかが、すぐに確認できるようにするために、学年別内容一覧表を追加していきたいと考えている。